

トルコ大使館／トルコ共和国首相 府投資促進機関(ISPAT)／ トルコ海外経済関係委員会(DEIK)

テキスタイル産業とトルコ

経済協力開発機構(OECD)の報告によると、トルコ経済は世界の中で良好であり、貿易分野の貢献もあって安定的に前進している。2010年第2四半期に記録した10.3%という成長率は中国と肩を並べるもので、G20諸国の中で最も高い数字となった。

トルコは地政学的な位置のみならず、豊富な天然資源をも強みとしている。トルコで発掘された碑文によると、綿や亜麻(リネン)は古代アナトリアの時代からトルコで栽培され、また、衣服に用いられていたことがわかっている。この発見は、織物、つまりテキスタイル産業とトルコが、縁の深い関係にあることを示している。中国という競争相手の存在を考えれば、トルコが輸出部門で維持している現在の位置づけは、大きな成功といってよいだろう。中国と比較して高賃金の労働者を雇用し、高価な繊維原料を使うトルコは、職人の質や布素材の耐久性の面で、競合国の一歩先を歩んでいる。

現在、国内経済におけるテキスタイル産業の位置は確固たるものだが、1980年の経済安定化政策施行以降、テキスタイル産業とアパレル産業は海外への進出を始めた。現在、輸出に占めるシェアは30%で、4万2000社を擁するテキスタイル産業は、トルコ経済で最も重要なセクターとなっている。町の工房、工場や企業が力を合わせてモザイク画の様相をなしているのが、今日のテキスタイル産業といえよう。

テキスタイル産業の最近の進展

テキスタイル産業は年々世界のさまざまなトレンドに沿って変化してきたが、今日では技術進歩に伴い、バラエティ豊かな織物と製品を生産することが可能になった。トルコは現在、世界のテキスタイル部門における市場需要の約4%を満たしている。原材料と労働力が基軸だった同セクターは、急速な技術進歩とグローバル化、そして競争の激化

によって今、新しいデザインや技術、ブランドへと軸足を移そうとしている。ナノテクを活用した織物生産が可能となるような新技術への投資も行われている。ナノテクを使って、しみに強く、アイロンが不要で、セルライト(皮下脂肪)予防ができ、防臭効果がある織物の生産が可能となる。こうした分野でもトルコはシェアを獲得しつつある。

さらに、環境に害がなく欧州基準に適合する「エコロジカル」なテキスタイルの生産が、EU加盟プロセスを通じて加速している。付加価値が高く、最近のファッション業界でも好まれる「オーガニック」な製品の生産がトルコでも始まっている。

こうした状況に鑑みると、トルコ・日本間の貿易関係においても、これまでの自動車、食品、農産品に加えて、テキスタイル分野での市場シェア拡大が検討され得るといえよう。

お問い合わせは、トルコ海外経済関係委員会(DEIK)
(TEL: +90 212 339 50 25、FAX: +90 212 270 37
84、E-mail: oertum@deik.org.tr)まで。

